

とよやま

No. 166
議会だより
9月定例会



私たちの声を届けたよ

(関連記事 P16)

町制50周年の感謝

(令和4年度決算)

P 2・3

議案 PICK UP

P 4~6

8人が一般質問

P 7~15

子ども議会

P 16

議会のインターネット中継が始まりました

- ・定例会(初日)
 - ・一般質問
 - ・議案質疑(3月のみ)
 - ・定例会(最終日)
- ご覧いただけます

豊山町議会
【公式】
チャンネル



町のホームページから
会議録がご覧いただけます

<https://www.town.toyoyama.lg.jp/>

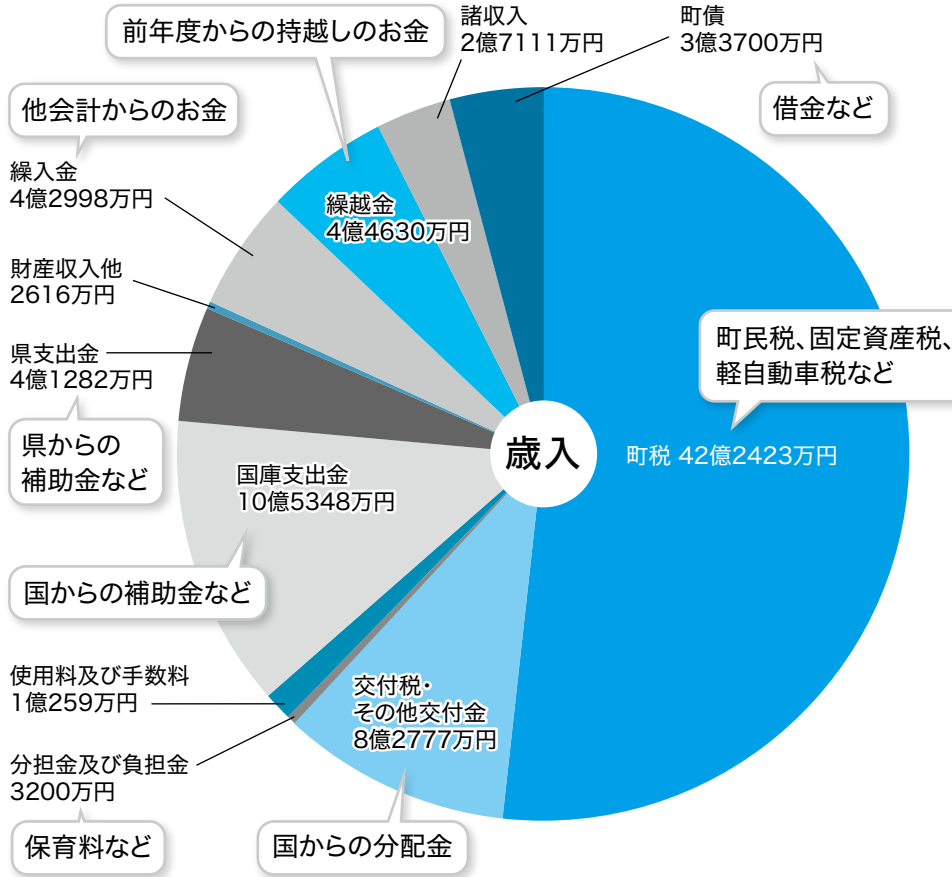


新たな一歩へ

令和4年度
一般会計
決算

全員賛成 認定

歳入決算額 81億6344万円



歳入の概要

歳入決算額は81億6344万円で、令和3年度に比べ2億7515万円(3.3%)減少している。構成比では町税が51.7%、国庫支出金12.9%、地方消費税交付金5.6%、繰越金5.5%、繰入金5.3%の順となっており、これらの5科目で総収入の81%を占めている。

特別会計決算状況

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	12億5537万円	12億3712万円
後期高齢者医療	2億4697万円	2億4506万円
介護保険	10億7656万円	10億6978万円
介護サービス	559万円	360万円
公共下水道	6億8440万円	6億8289万円
合計	32億6889万円	32億3845万円

◎万円で端数調整をおこなっています

9月
定例会の
あらまし

令和5年第3回定例会が9月4日から21日まで開かれました。財政健全化判断比率などの報告2件、人事案件2件、条例の制定2件、条例の一部改正2件、令和4年度一般会計および特別会計決算6件、令和5年度一般会計および特別会計補正予算7件、意見書の提出など22議案が上程され、いずれも可決しました。

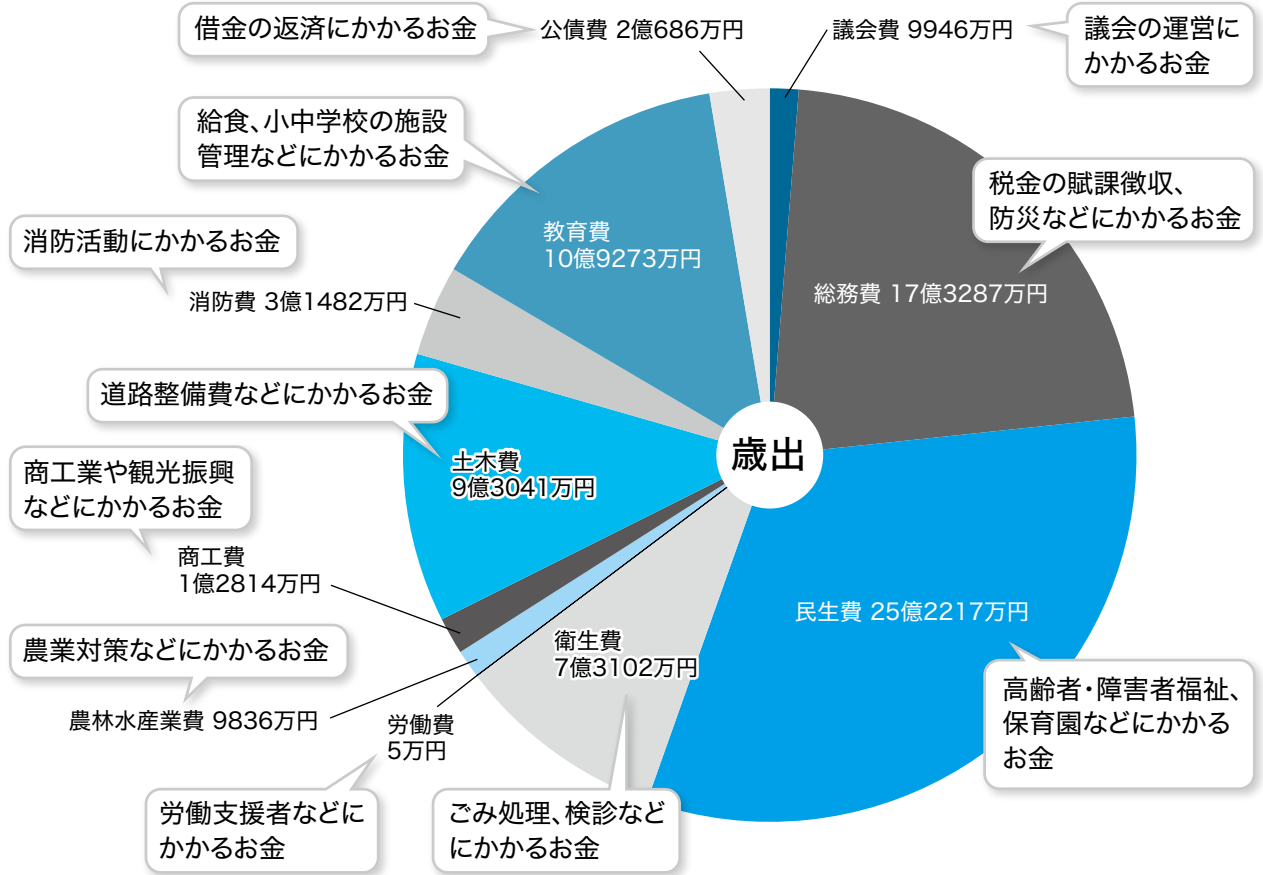
9月定例会

議案 PICKUP

一般質問

50年の感謝を胸に

歳出決算額 78億5689万円



9月定例会

議案 PICKUP

一般質問



記念事業の司会を務めたジュニアリーダー



豊山木遣保存会のアトラクション

令和4年度に行った注目事業

50周年記念事業	4697万円
町の避難所・にぎわい施設の整備	1億7219万円
放課後子ども教室事業	713万円
豊山小学校トイレ改修	1億8054万円
議会のインターネット中継配信	80万円

基金残高

財政調整基金	19億 376万円
介護保険基金	8991万円
遺児高校入学祝金支給事業基金	170万円
教育施設整備基金	2億9542万円
公共施設等保全整備基金	4億1763万円
森林環境譲与税基金	303万円
豊山町町制施行50周年記念事業基金	0円

◎令和5年3月末現在

令和4年度議長交際費	8万6700円
------------	---------

議案 PICK UP

定例会で審議された議案や事業をピックアップして、その中身や質疑を詳しく説明します。

議案一覧

令和5年第3回定例会(9月)

番号	議案	審議結果
議案第51号	固定資産評価審査委員会委員(安藤進啓)の選任	全員賛成同意
議案第52号	教育委員会委員(志水千鶴)の任命	全員賛成同意
議案第53号	わたぬき基金条例の制定	全員賛成可決
議案第54号	下水道事業の設置等に関する条例の制定	全員賛成可決
議案第55号	社会教育センターの設置及び管理に関する条例の一部改正	全員賛成可決
議案第56号	スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	全員賛成可決
議案第57号	令和4年度一般会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
議案第58号	令和4年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
議案第59号	令和4年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
議案第60号	令和4年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
議案第61号	令和4年度介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
議案第62号	令和4年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
議案第63号	令和5年度一般会計補正予算(第3号)	全員賛成可決
議案第64号	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	全員賛成可決
議案第65号	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	全員賛成可決
議案第66号	令和5年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	全員賛成可決
議案第67号	令和5年度介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	全員賛成可決
議案第68号	令和5年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	全員賛成可決
議案第69号	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	全員賛成可決
発議第3号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出	全員賛成採択
発議第4号	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出	全員賛成採択
発議第5号	愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出	全員賛成採択

議長は議決には加わりません 太字は議案PICK UPに掲載

9月定例会

議案PICK UP

一般質問

わためき基金条例の制定

- 平成14年まで開設していた綿貫医院の親族から受けた寄附金の使途や運用方法を明確にするため、綿貫様の名字を冠した基金条例を創設

- Q 運用方法を聞く。
- A 子ども関連事業や福祉・医療関係事業に充てたい。

基金への積立額	5億8307万5839円
今後のスケジュール	令和5年10月 具体的な事業の検討 令和6年3月 議会に当初予算の上程

一般会計歳入歳出決算

町制施行50周年記念事業

4697万円

- Q 総括として町長の感想を聞く。
- A たくさんの事業が滞りなく実施できた。町民・関係機関の皆さまに厚く御礼申し上げます。
記念事業について、若手職員が率先して考えてくれたため、職員にも大きな財産となった。この経験やつながりを大切に、豊山町をさらに発展させたい。



50周年最後のイベント

産後ケア事業

16万円

- Q 利用者からの要望は。課題はあるのか。
- A 産後ケアを利用された方は2名。利用者からは上限の7日間を連続して利用したい希望があったが、空きベッドが確保出来ず2回に分けて利用していただいた。課題は、希望した日や日数を利用できるように、実施医療機関の拡大などに取り組むことである。



新商品開発チャレンジ補助金

541 万円

- ◎ 新商品にはどのようなものがあったのか。
- ◎ 空港や北部市場など、地元の特色を生かした商品が4件、事業者として新たな分野に挑んだ商品が5件あった。
- ◎ ふるさと寄附金返礼品の申請件数は。
- ◎ 7件の商品が登録申請された。



第2回新商品・新サービス
合同記者発表会

議案
第63号

一般会計補正予算

社会福祉協議会指定管理料の増額

657 万円

- ◎ 就労継続支援B型事業所への移行が延期になった理由と今後の予定は。
- ◎ 職員の配置基準であるサービス管理責任者の応募がなく、令和5年10月の開始が困難となった。今後は、現在の社会福祉協議会職員を2年かけサービス管理責任者として養成していく。事業所の開所は令和7年4月に延期することが理事会で決議された。
- ◎ 影響額はいくらか。
- ◎ 国や県の負担金を除いた、513万7千円が半年分の影響額である。

給食材料費の高騰対応

1543 万円

- 保育園 131万円、小中学校 1412万円増額

- ◎ 物価上昇の影響により、保護者への負担は増えるのか。国や県からの補助金はあるのか。
- ◎ 材料購入費の急激な上昇に速やかに対応する必要があり、今年度の不足分は町の一般会計から支出する。次年度以降の給食費については、見直しを検討せざるを得ないと考えている。



一般質問
ラインナップ

あなたの思い、議会へ

一般質問とは、町が行っている事業や計画について議員が住民に代わって質問したり要望を伝えたり、今後の町のあり方について議論、提言することである。

9月12日(火)8人が質問に立った。
一問一答方式で、制限時間は答弁を含み1人60分。

議会だよりには、太字のみ掲載

1	大口 司郎	● P F A Sについて ● 愛知県からの派遣職員について	P. 8
2	熊沢 直紀	● スカイプールの今後のあり方について	P. 9
3	作野 桂子	● 不登校対策の推進を ● 公共施設マネジメントの取り組みを	P.10
4	岡島 剛	● 今後の公共交通について	P.11
5	岡島 政信	● 町の防災施策について	P.12
6	岩村みゆき	● 子育ての伴走型支援と読書活動について ● 志水小学校区の交通安全対策について	P.13
7	岩下 竜也	● 職員が働きやすい職場づくりについて	P.14
8	坂田 芳郎	● 中学校移転話の進捗状況を問う	P.15

◎全文記録（議事録）は、12月上旬に町ホームページ掲載しますのでご覧ください。

Q. PFASの不安の払拭は



おおぐち しろう
大口司郎 議員

OGUCHI Shiro

A. 必要な措置を講ずる

新聞報道やテレビのニュースでも豊山配水場のPFASは報道されており、住民の不安は募るばかりである。住民の健康に対する不安を払拭するのは、町長の重大な役割であるので、国の基準が示されたら確かつ効果的な対応をお願いする。

Q 町長は、いつ頃PFAS問題を知ったのか。

A 生活福祉部長

令和3年3月の豊山配水場の水質検査の際に、有機フッ素化合物が厚労省の暫定目標値を超えて検出され、企業団から企業長である町長に報告されたときである。

Q 豊山配水場は、令和3年に配水を停止していると新聞では報道されているが「危険」であるから配水を停止したのか。

A 生活福祉部長

厚労省の対応の手引きに基づいて、豊山配水場の井戸水の汲み上げを停止した。

9月定例会

議案 PICKUP

一般質問

Q 同じくPFASが検出された各務原市の対応として、浄水器の取り付け、曝気槽を年内に設置する計画であるとのこと。豊山町においては、どのような対策を講ずるのか。

A 生活福祉部長

現在汲み上げを停止している豊山配水場のPFASはその後、暫定目標値を下回っている。

国が新たに基準や調査方法を提示した際には、必要な措置を講ずる。

Q PFAS問題は、最近テレビや新聞の報道が先行し町からの情報の提示が不足しているように感じられる。

原因の究明と健康への影響、農作物への残留など住民の不安を払拭する計画はあるのか。

A 生活福祉部長

町は現状をお知らせするため、広報やホームページで情報を掲載している。今後、適切に情報を提供していく。

Q. 町職員の負担軽減は

A. 十分されている

町長の日頃からの町政に対する姿勢「1人も取り残さない」「住んで良かった」については、町の職員にも当てはまるものだと確信する。

現在、町には洪水対策など大型で喫緊の問題が多数ありと認識している。

Q 現在、愛知県から派遣されている職員の人数、職種、具体的業務、県への負担額は。

A 総務部長

県から派遣されている職員は、理事、参事、教育参事の3人。

公共交通、空港を活用した地域振興、防災拠点、治水対策、学校の組織編制、学習指導などに関する業務である。派遣職員3人の愛知県への負担額は約1965万円。

Q 派遣職員の具体的な事務とその成果や評価は。県からの派遣職員でないこと対応ができない理由は。

A 総務部長

具体的事務は、質問1の業務に加え、他機関との連絡調整である。町職員とは異なる視点に基づき、助言や示唆に価値がある。

Q 派遣職員でなければ、対応ができない重要な事案についてどのように考えるのか。町の職員の負担は軽減されているのか。

A 総務部長

この状況は、重要な事案を解決できるまで続けるのか。町職員の負担が十分軽減されている。町職員のスキルアップのため、引き続き派遣をお願いする。



くまざわ なおき
熊沢直紀 議員
KUMAZAWA Naoki

Q. スカイプールと 中学校のあり方は

A. 中学校は フラットな立ち位置で検討

先の6月議会に於いて、教育長は「豊山スカイプールを廃止せざるを得ない。時期は令和6年度を最終開場とし、

廃止することが適当である」と

と答弁をされた。ここ数年間で約6300万円の改修工事を

費を使っている。現状のまま

で、まだ10年は使えそうに思

われる。なぜ、令和6年度ま

でで閉館するのか、綿貫医院

様の寄附金5億8300万円

の内、3億4000万円を使

用して改修すればよい。町長

は、6つの公約の中で「豊山

中学校を移転・新築します」と

謳っている。

スカイプールに多大の改修費用が掛かるから、廃止することだが、幸いにも本年度、綿貫医院様より5億8300万円の町への寄附があった。この寄附金を使つて、わためきスカイプールとすれば綿貫様も喜ばれる。町長の考えは如何か。

A 総務部長
寄附金は、わためき基金

を設け、基本的にその利子を子ども関係事業などに充当する。

第8回豊山中学校施設整備基本構想会議に於いて、目指すべき豊山中学校のあり方のアンケートを2000人に対して送付し、673人の回答があった。その他ご自由な意見の中で、移転改築してほしいという意見は5意見であり、改築場所は現在の場所がよいという意見は19意見であった。改築場所は現在の場所がよいとの意見の多い中、プール跡地への移転・新築へ誘導をしているように思う。プール廃止は町長の意向が大きいのではないか。

Q

色々な団体に聴取し、現在の中学校は、敷地が狭いから広い場所への移転がよいと誘導しているように思う。

この問題の解決は、地上の階数を増やし、地下の階数を考えればよい。地下を数階にして、地下駐車場も造り、地域住民の防災用避難場所の観点から、ミサイル用シェルターとしての機能や備蓄倉庫として活用するとよいが、町長の考えは如何か。

Q 最終的にプール跡地に中学校を移転・新築することになった場合、プール跡地だけでは狭く、西側の駐車場も取り壊さなければならぬ。プール西側の駐車場がなくなれば、社会教育センターで、今までに行われてきている年中行事的な催し、文化展・商工祭・とよやまdeない

A 教育委員会事務局
意見聴取の質問項目もアンケートと同様の趣旨で設定している。議員からの提案は、意見として承る。

Q 最終的にプール跡地に中学校を移転・新築することになった場合、プール跡地だけでは狭く、西側の駐車場も取り壊さなければならぬ。プール西側の駐車場がなくなれば、社会教育センターで、今までに行われてきている年中行事的な催し、文化展・商工祭・とよやまdeない

A 教育委員会事務局
意見聴取の質問項目もアンケートと同様の趣旨で設定している。議員からの提案は、意見として承る。

Q 最終的にプール跡地に中学校を移転・新築することになった場合、プール跡地だけでは狭く、西側の駐車場も取り壊さなければならぬ。プール西側の駐車場がなくなれば、社会教育センターで、今までに行われてきている年中行事的な催し、文化展・商工祭・とよやまdeない

A 教育委員会事務局
意見聴取の質問項目もアンケートと同様の趣旨で設定している。議員からの提案は、意見として承る。

Q 最終的にプール跡地に中学校を移転・新築することになった場合、プール跡地だけでは狭く、西側の駐車場も取り壊さなければならぬ。プール西側の駐車場がなくなれば、社会教育センターで、今までに行われてきている年中行事的な催し、文化展・商工祭・とよやまdeない

A 教育委員会事務局
意見聴取の質問項目もアンケートと同様の趣旨で設定している。議員からの提案は、意見として承る。

Q 最終的にプール跡地に中学校を移転・新築することになった場合、プール跡地だけでは狭く、西側の駐車場も取り壊さなければならぬ。プール西側の駐車場がなくなれば、社会教育センターで、今までに行われてきている年中行事的な催し、文化展・商工祭・とよやまdeない

A 教育委員会事務局
意見聴取の質問項目もアンケートと同様の趣旨で設定している。議員からの提案は、意見として承る。



オープン当初のスカイプール（平成3年）

などを開催する場合の駐車場に来訪者が困る。また、運動場の利用（野球・サッカー・ソフトボール・グラウンドゴルフなど）が困難になるのではないか。どのように解決されるのか町長より具体的な答弁を頂きたい。

A 教育委員会事務局
豊山スカイプールとその駐車場を改築場所とする場合には、その懸案事項についても検討する。

Q 最終的にプール跡地に中学校を移転・新築することになった場合、プール跡地だけでは狭く、西側の駐車場も取り壊さなければならぬ。プール西側の駐車場がなくなれば、社会教育センターで、今までに行われてきている年中行事的な催し、文化展・商工祭・とよやまdeない

A 教育委員会事務局
意見聴取の質問項目もアンケートと同様の趣旨で設定している。議員からの提案は、意見として承る。

Q 最終的にプール跡地に中学校を移転・新築することになった場合、プール跡地だけでは狭く、西側の駐車場も取り壊さなければならぬ。プール西側の駐車場がなくなれば、社会教育センターで、今までに行われてきている年中行事的な催し、文化展・商工祭・とよやまdeない

A 教育委員会事務局
意見聴取の質問項目もアンケートと同様の趣旨で設定している。議員からの提案は、意見として承る。

Q 最終的にプール跡地に中学校を移転・新築することになった場合、プール跡地だけでは狭く、西側の駐車場も取り壊さなければならぬ。プール西側の駐車場がなくなれば、社会教育センターで、今までに行われてきている年中行事的な催し、文化展・商工祭・とよやまdeない

A 教育委員会事務局
意見聴取の質問項目もアンケートと同様の趣旨で設定している。議員からの提案は、意見として承る。

Q 最終的にプール跡地に中学校を移転・新築することになった場合、プール跡地だけでは狭く、西側の駐車場も取り壊さなければならぬ。プール西側の駐車場がなくなれば、社会教育センターで、今までに行われてきている年中行事的な催し、文化展・商工祭・とよやまdeない

A 教育委員会事務局
意見聴取の質問項目もアンケートと同様の趣旨で設定している。議員からの提案は、意見として承る。

Q 最終的にプール跡地に中学校を移転・新築することになった場合、プール跡地だけでは狭く、西側の駐車場も取り壊さなければならぬ。プール西側の駐車場がなくなれば、社会教育センターで、今までに行われてきている年中行事的な催し、文化展・商工祭・とよやまdeない

A 教育委員会事務局
意見聴取の質問項目もアンケートと同様の趣旨で設定している。議員からの提案は、意見として承る。

Q. 学べる環境の整備は



さくのけいこ
作野桂子 議員

SAKUNO Keiko

A. 校内教育支援センターは有効

豊山町では小・中学校の不登校児童生徒が年々増加し、令和4年度は70人もいる。

全国では、専門機関などで相談や指導を受けられていない90日以上不登校の児童生徒が約4万6千人いる。

文科省は令和5年3月31日に「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策について（COOLOプラン）」を通知し「学校や学びの場の在り方が問われている」「一人ひとりに応じた多様な支援を行う」と文部科学大臣からメッセージが送られた。不安と葛藤の中で生きている子どもたち、一人ひとりに合った支援とは何か。これからは生きる子どもたちの未来を考えるという観点から「不登校により学びにアクセスできない子どもたちをゼロにする」ための新たな対策が必要である。



文科省
COCOLO
プラン

9月定例会

議案 PICKUP

一般質問

Q 学びたいと思った時に学べる環境をどのように整備していくのか。

A 教育委員会事務局長
校内教育支援センターについては有効な手立ての一つとして考え、他の自治体の情報を収集している。

Q 不登校になった時「どこに相談したら良いか分からないかった」「教育支援センターをなかなか紹介してもらえなかった」という声が届いている。保護者が必要とする情報をまとめて渡してはどうか。また、学校とのやりとりに困惑する保護者も多いため、学校に望む対応の希望を聴き取るための、対応希望フォーマットを作成してはどうか。

A 教育委員会事務局長
年度初めに啓発資料を配布している。今後も保護者へのメール配信など積極的に周知を図る。対応希望フォーマットについては、今後の学校と保護者間の連絡ツールの一つとして参考にしている。

Q. 公共施設マネジメント研修は

A. 実施に向けて検討する

町民から「中学校の建て直しはどのようになるのか」「現在の中学校の体育館に空調設備を整備するのは何故か」「スカイプールが廃止になる理由は」「古い施設がたくさんあるが、今後の計画は」など公共施設について様々な質問を受けている。豊山町では、たくさんの公共施設が本格的な更新や修繕が集中する時期を迎える。しかし、人口減少や超高齢社会の進行に伴い、厳しい財政状況が予想される。

公共施設の総量や更新費用を町の人口や財政規模に合った適正水準とし、将来のまちづくりの視点を持って総合的・計画的な管理を推進し、持続可能な公共施設マネジメントを確立する必要がある。また、町民への情報公開、合意形成を図る必要がある。

Q 担当職員には専門スキルが必要となる。また、全職員の意識啓発と認識共有の推進のため、公共施設マネジメント研修が必要では。

A 総務部長
外部の講師を招くなど、研修の実施に向けて検討する。

Q 施設カルテ（修繕状況・人件費・減価償却など）を公表してはどうか。

A 総務部長
施設カルテの公表に向け、調査研究していく。





おかじま つよし
岡島 剛 議員

OKAJIMA Tsuyoshi

Q. 路線やダイヤ維持の要請は

A. 地域公共交通会議で

この見直しの趣旨は、長時間労働の常態化が指摘されているトラック、バス、ハイヤー、タクシーなどのドライバーについて、時間外労働の

改正されるバス運転者の改善基準告示

	見直し前	見直し後
1年の拘束時間	原則 3380時間	原則 3300時間
1日の拘束時間	最大16時間	最大15時間
1日の休息時間	継続8時間	継続11時間以上 原則9時間を下回らない

「働き方改革関連法」により、一般企業では2019年、中小企業では2020年から、時間外労働の上限が、年720時間と規制された。2024年4月からは、トラック、バス、ハイヤー、タクシーなどの自動車運転者についても「改善基準告示」が改正され、拘束時間、運転時間、休息時間、休日労働についての基準が大きく見直される。

これらを併せ考えると、現在の町内を運行している各路線バスのダイヤが維持されるのかを危惧している。

数年来、定期運行のバス、長距離運行のバスを問わず、バスの事故は頻発してきた状況があり、これらへの対応が求められてきた中で、この「改善基準告示」の改正でドライバーの労働時間が適正化されることにより運行の安全が担保されるものと期待する。しかし、一方で、各交通事業者のドライバー不足の状況が長期化・常態化していることも現実である。

上限を規制し、勤務間の休息時間を確保することなどにより、ドライバーの健康を守りひいては輸送の安全を守るためである。

時刻表

No.	北山一丁→高松橋→小幡駅前		南山一丁→高松橋→小幡駅前	
	平日	土日祝日	平日	土日祝日
5			40	
6			13	
7			45	45
8			30	30
9	46	46	50	50
10			55	55
11	36	36	55	55
12			33	33
13			38	38
14	01	01	38	38
15	51	51	33	33
16			33	33
17	46	46	38	38
18			38	38
19	25	25	38	38
20			34	34
21				

ダイヤに影響が出ないように

これらへの対応においては、他自治体のコミュニケーションバスでも大変苦慮していると聞いている。現時点においては、本町内を運行している各事業者とも、検討中の部分が多い

「改善基準告示」の改正については、慢性的なドライバー不足への対応が困難な事業規模の小さなバス運行事業者への影響が大きいと聞いている。とりわけドライバーの「連続運転時間」の削減と「休息時間」の確保が課題となっている。

町としても、各事業者の対応、特に各路線のダイヤが現状と比較して同じぐらい維持されるのか、減便の場合ほどの程度になるのかなどについて、大きな関心を持って情報収集に努めている。

現在、町が把握している名鉄、あおい交通、名古屋市交通局の各交通事業者の2024年4月以降の対応方針などは、どうなっているのか。



重要な移動手段のタウンバス

状況のため、引き続き情報収集に努めていく。

町として、2024年4月以降を見据え、各交通事業者に対して、路線の維持はもろろん、既存のダイヤの維持をどのように要請していくのか。

町として公共交通、特に「とよやまタウンバス」は町民の方々の重要な移動手段であると認識している。日頃の事業者との連絡の際だけでなく、地域公共交通会議の場を通じて、路線の維持はもろろん、既存のダイヤの維持を要請していく。

Q. 災害対策の準備は



おかじまさのぶ
岡島政信 議員

OKAJIMA Masanobu

A. 災害協定締結に向け調整中

9月定例会

議案 PICKUP

一般質問

9月3日(日)に、第44回豊山町総合防災訓練が実施された。この防災訓練は、町関係者だけでなく、警察、消防、自衛隊といった救助を担う関係者やライフライン関係者はもちろん、各小学校区の自主防災会や災害ボランティアコーディネーターなど、町民の有志の方々も参加される非常に有意義な訓練であった。

そして、令和5年度の訓練では、これまでの「災害対応訓練」に加えて、隣国の状況を考慮した「弾道ミサイルを想定した危機対応訓練」も併せて実施された。

近年「線状降水帯」により数日のうちに例年のひと月分の雨が降るなど、以前とは雨の降り方が異なり、それによって家屋、事業所、田畑、道路などに甚大な被害が出ていることは現実である。

このように被害が出てしまった際の対策を日頃から計画しておくことも、災害による被害の発生を防ぐ対策と同様に、大切である。

令和4年9月、町は、風水害や地震災害により居住する家屋を失った町民の方のために、愛知県住宅供給公社の管理する豊山住宅を活用する協定を結ばれた。この協定により、とても素晴らしい備えができたものと評価している。

より実践に近い内容とするため、役場会議室で図上訓練を行ったことで、初期期の災害対応の流れを確認できた。また、国民保護計画に基づく武力攻撃対処行動訓練も、警察、消防本部などによる避難誘導活動や、町民の皆さまに最低限取るべき安全確保など、実行動を通じてお知らせできた。

豊山町総合防災訓練を終えての評価・課題などについて聞く。

A 企画調整部長

総合防災訓練は、例年の南海トラフ巨大地震に加えて、国民保護計画に基づく武力攻撃対処行動の2つの災害想定のもとで実施した。

訓練内容も、これまでの見学型から初期消火活動や避難所開設などの体験型へ変更し、約350人の方が参加した。

訓練に対する評価は、災害対策本部活動訓練において、

A 企画調整部長
本町は、災害時に必要な物資や資機材などを迅速かつ効果的に確保するため、これまでに、24件の災害協定を民間事業者や団体と締結している。

直近では、令和4年9月に愛知県住宅供給公社と豊山住宅の空き住戸等を活用する協定や、令和5年3月に株式会社有電との資機材等の提供に関する協定を締結した。

今後の予定は、豊山住宅の空き住戸の一部を町の災害時必要物資の保管施設として活用する協定締結に向け調整を行っている。

引き続き、関連業者などと調整を図りながら、災害時応援協定の充実に努める。



新たに住宅供給公社と締結



い わ む ら
岩村みゆき 議員
IWAMURA Miyuki

Q. 子育て支援にセカンドブックを

A. 事業の実施を検討したい

Q 出産・子育て応援給付金事業の支給方法、支給率を聞く。

A 生活福祉部長

支給方法は、出産応援金は、親子健康手帳交付時の面談実施後に、妊婦1人につき5万円を、子育て応援金は、乳児の家庭に全戸訪問後に、子ども1人につき5万円を指定された口座へ振り込みしている。

支給率は、令和5年2月から8月末までの対象者、すべての方へ交付している。

Q 現在、3カ月健診時に行われているブックスタート事業の効果はどうか。

A 生活福祉部長

令和元年度から実施し、539人に1078冊をプレゼントした。保護者からは「子どもが絵本を見る様子を初めてみて、読み聞かせのきっかけになった」などの声をいただいている。親子の愛着形成に良い影響を与えているのではと考えている。

Q 私は、切れ目のない子育て支援するには、2歳から3歳のところが、やや間隔があいているように感じている。

A 生活福祉部長

そこで、2歳から3歳で2回目の絵本のプレゼントとなる、セカンドブック事業を行うことはどうか。

A 生活福祉部長

セカンドブック事業は、子どもの健やかな心の成長を育むとともに、更なる読書習慣へつながるきっかけづくりになると考えている。

好奇心や探求心が旺盛になり共感や思いやりが芽生え始める3歳を迎えるお子さまに絵本をプレゼントするセカンドブック事業の実施を検討したい。



Q. 志水小学校区の交通安全対策は

A. ゾーン30の導入を検討

本町の交通事故発生件数は年々減少傾向にあるものの、とりわけ、志水小学校区は国道や県道の主要幹線に囲まれたエリアであることから、朝夕の時間帯に流入する通行車両が多く、住民の生活や子どもたちの通学の安全性が脅かされている現状がある。

ブと狭窄が抜け道利用する車両に対する抑止力となり、幹線道路に回帰させる効果があったと考える。

Q この課題解決に令和3年度には、交差点ハンブと狭窄を設置された。効果はどの程度表れているのか。

A 企画調整部長

国土交通省のビックデータをを用いて設置前後を比較したところ、速度抑制と視認性が高まり、車両の走行速度や一時停止状況(38%↓49%)、交通量(5280台→3998台)に改善が見られた。

A 企画調整部長

この結果から、交差点ハンブと狭窄が抜け道利用する車両に対する抑止力となり、幹線道路に回帰させる効果があったと考える。

Q 東西の通行車両へも対策が必要である。町道58号線と町道6号線が交わる点滅信号交差点の今後の対策についても併せて聞く。

A 企画調整部長

現在、町では当該地区のさらなる対策として、区域を定めて時速30キロに速度規制する「ゾーン30」の導入を検討している。ハンブや狭窄などの安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における車の走行速度や通り抜けを抑制するものである。

指摘の交差点についても「ゾーン30」の導入に合わせ、関係機関と協議を行う。

Q. 質の高い行政サービスを行うには



いわた たつや
岩下 竜也 議員

IWASHITA Tatsuya

A. 自律型人材の育成・意識改革

私は、議員に就任してから、町民の皆さまの声を解決するため、行政に要望、調査などを依頼してきたが、そもそも、豊山町を支える役場の職員が、町民の皆さまに対して、しっかりと行政サービスができていないのか、適切な対応ができていないのか、職員にとって働きやすい環境ができていないのかと、疑問に思うようになった。

今回の質問を行うにあたり、豊山町役場で働く職員の皆さんの働き方はどうなっているのかと思い、私自身で直接聞き取り調査を行ったり、必要な資料を要求するなど、調査を進めてきた。

この調査で感じたことは、大きく2つある。1つ目は、時間外勤務の推移を見ると、年々増加している傾向にあること、2つ目は、若い職員と管理職との間でのコミュニケーションが不足しているのではないかと感じたところである。

9月定例会

議案PICKUP

一般質問

◎ 町を支える職員の皆さんの労働環境の見直しや一部の職員にかかっている業務負担を分担するなど、当事者だけでなく、町長をはじめ、職員が一丸となって、職場環境に関する課題の解決に取り組んでいただくとともに、次世代を担う若い職員がより働きやすい職場づくりを行っていただくことが重要であると思うが、この点について、どのように考えているのか。

◎ 総務部長

議員ご指摘のとおり、行政に対するニーズは年々多様化、複雑化している。また、この10年で若い職員の割合が急激に増えてきている。町としても若い職員の能力を十分に発揮できるように育てていくのが重要な課題であると認識している。

社会情勢の急速な変化に対応していくためには、若い職員が自ら考える必要性を感じ、課題の解決に向けて積極的に取り組めるような職場づくりが大切であると考える。

◎ 現在、町では働きやすい職場づくりに向け、具体的にどのような取り組みを行っているのか。また、今後の予定は。

◎ 総務部長

現在、庁内で公募した若手職員により「自ら考え、自ら判断し行動できる自律型人材の育成」を掲げた新たな人材育成方針を策定したほか、若手職員が活躍しやすい職場づくりに向け、係制を廃止してグループ制を導入し、若手職員をいち早く登用し、活躍することができるよう組織への変更を行った。また、14パターンの勤務時間から選択することができるよう時差勤務制度を導入し、職員のライフスタイルに応じた働き方を可能にしたほか、職場における職員の孤立や精神的不安の解消を目指したメンター制度を導入し、複雑化する職員のストレス軽減に努めるなど、新たな時代を担っていく若い世代にとっても働きやすい職場づくりにも取り組んでいる。今後は、こうした働きやすい職場づくりと並行して、業務効率化に向けた業務のマニュアル化やDXの更なる推進にも取り組んでいく。



◎ 働きやすい職場づくりに
は、職員の労務管理にも力を入れるべきである。職員の時間外勤務を適切に管理するため、今後、どのように取り組みの考えは。

◎ 総務部長

令和6年4月から庶務管理システムを導入し、適切な労務管理を行っていく。

労務管理だけでなく、時間外勤務が生じる原因を職場内で話し合うなど、時間外勤務に対する職員の意識向上にも努めていく。



さかた よしお
坂田芳郎 議員
SAKATA Yoshio

Q. 中学校移転話の進捗状況を伺う

A. 建設場所を検討している

方々の指摘を受け、
明言をお願いしたい。

令和2年10月、町長は「住みたいまち、住み続けたいまち」を目指して、と称して一人ひとりが大切にされる新しい豊山をつくる6つの約束「なる具体策を唱えた。」

其の一つ。「豊山中学校を移転・新築します。」と。決意をもって断言なされた。

この件につき、伺う。

広報とよやま 令和4年9月号特集に於いて「目指すべき中学校のあり方」がまとまりました。とある。冒頭において、「改築整備を前提とした検討を進めています。」と。

然し乍ら、町公式HP掲載

「目指すべき中学校のあり方 令和4年8月 豊山町中学校施設整備基本構想会議」

56ページに及ぶ最終まとめ

案資料にあつては、その改築整備とは、「建設候補地」の

検討をも含めた協議内容の掲載となっている。「豊山中学校改築候補地比較表」にあつ

て 1、現豊山中学校 2、

豊山スカイプールと駐車場、豊山グラウンド 3、その他

として、16項目に及ぶ詳細な比較表を作成し解説している。ここで尋ねる。

Q 「豊山中学校改築候補地」なる文言の意味を伺う。

A 現行の中学校の校舎を取り壊して、新たに校舎を建てる際に、どこに建てるか、その候補地という意味です。

Q 要するに、移転するのじゃないのか。一言にてご答弁願いたい。後、理由を伺う。

A 建設場所については、豊山町中学校施設整備基本構想会議で意見を伺うなどして現在検討しているところでありませう。

Q 其の理由を伺う。

A 目指すべき中学校のあり方について何が最適か、建設場所を含めフラットな立ち位置で検討しております。

昨年8月に豊山町中学校施設整備基本構想会議によりまとめられた「目指すべき中学校のあり方」では、改築候補地について、敷地面積、通学距離、工事期間中の学習生活環境等、複数の要素を基に検討することが必要とされてい

ます。
教育委員会としては、こうしたことを踏まえながら慎重に建設場所を検討しているところでありませうので、ご理解いただきますようお願いいたします。



本人の申し出により、編集せず原文のまま掲載しています。



令和5年度 豊山町子ども議会

8.28(月)

議長	内山 幹大	志水 亮太
1	志水 亮太	子供会の減少と対策は
2	太田 陽葵	子どもたちが安全に通行できる歩道を
3	太田 樹	①学校の体育館や社教センターに エアコン設置を ②スカイプール廃止の理由は
4	石黒 巧真	給食の量を増やしては
5	坂口 恵翠	学校のトイレをきれいに
6	加藤 知輝	①小学校の部活動について ②スポーツ少年団の入団者数について
7	縄田 健人	放課後の遊びについて
8	山口 蓮	子ども消防クラブについて
9	内山 幹大	①部活動が無くなった理由は ②議会に地空人はくるのか ③ボール遊びができる公園が少ない という質問のその後について

子ども議員から 感想をいただきました

志水 亮太

今回議長という大役を体験でき、緊張しましたが自信がつき色んなことに挑戦しようと思っようになりました。

また、どのように議会が行われているのかも知ることができたので、とても良い経験ができました。



坂口 恵翠

始めはきんちょうしだけれど、だんだん

れて最後にはきんちょうなんてなくなりました。貴重な体験が出来てよかったです。地空くんが来たのはおもしろかったです。



山口 蓮

今回、僕は初めて子ども議会に参加しました。質疑で子ども議員として立った時は少し緊張しましたが、普通では味わえない体験が出来てとても良い経験になりました。次回も

参加して今度は議長に挑戦してみたいです。



縄田 健人

ぼくは、子ども議会でいろいろな経験をしました。

あとは、校外学習でも行けない、町長さんが議会をするところにも入れてうれしかったです。



年賀状などの挨拶状の禁止

議員は選挙区内の方に、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、寒中見舞いなどの挨拶状を出すことを禁止されています。

ご理解をお願いします。

町のホームページから子ども議会をご覧くださいませ。

<https://www.town.toyoyama.lg.jp/chosei/gikai/1005710.html>



次回定例会の予定

12月 4日(月)	開会・議案説明	13日(水)	福祉建設委員会 総務文教委員会
11日(月)	一般質問	14日(木)	予算決算特別委員会
12日(火)	議案質疑	15日(金)	討論・採決・閉会

開始時間は午前9時30分から(最終日は午後1時30分から)
議事の都合により、日程が変更になる場合があります。

広報編集委員

委員長 岩村 みゆき 副委員長 作野 桂子

委員 岡島 政信/岡島 剛/岩下 竜也